

平成26年度業務運営懇談会議事要旨

- 1 日 時：平成27年2月27日（金）13：30～16：25
- 2 場 所：独立行政法人農林水産消費安全技術センター本部大会議室7階大会議室
（さいたま市中央区新都心2-1さいたま新都心合同庁舎検査棟）
- 3 出席者：

◎座長

木村 真人 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 理事長

○外部有識者

天野 徹夫 全国農業協同組合連合会 肥料農薬部長
板橋 久雄 一般社団法人 日本科学飼料協会 理事長
大木 美智子 一般財団法人 消費科学センター 代表理事
佐藤 英明 独立行政法人 家畜改良センター 理事長
田島 眞 実践女子大学・短期大学 学長
中村 幸二 一般社団法人 日本植物防疫協会 技術顧問
中山 尊裕 一般社団法人 日本農林規格協会 専務理事
平石 冬樹 株式会社 読売新聞東京本社 編集局次長
山根 香織 主婦連合会 会長
渡邊 昭彦 公益社団法人 日本広報協会 常務理事

○説明者等

角谷 徳道 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 理事
片山 信浩 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 理事
曾根 一人 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 理事
二階堂 孝子 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 監事
碓井 憲男 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 監事
原 弘幸 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 有害物質等分析
調査統括チーム長
小森 栄作 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 企画調整部長
瀧田 伸一 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 総務部長
近藤 浩 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 消費安全情報部長
小林 栄次郎 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 規格検査部長
小林 郁雄 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 表示監視部長
大橋 史郎 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 肥飼料安全検査部長
早川 泰弘 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 農薬検査部長

※外部有識者（欠席）

梅津 憲治 大塚化学株式会社 技術顧問
川崎 晃 独立行政法人農業環境技術研究所 土壌環境研究領域長

4 議事概要：

(1) 平成26年度計画及び実施状況について

外部有識者	ピロリジジナルカロイド（以下「PA」という。）に関連して、エキナセアについては、埼玉県内で町おこしに利用している自治体がある。今後、PAのモニタリングは予定されているのか。また、これは危ないという印象はあるのか。
説明者	PAについての毒性評価は終わっていないことから、現段階では危険かどうかについては言及できない。
外部有識者	PAはどのような経緯で取り上げられたのか。飼料については、最近の価格高騰により雑草も利用するようになっている。雑草に混入している危険性について考える必要があるのか。
説明者	国際機関であるJECFAにおいて、PAが優先的に評価すべき物質とされたためである。ドイツではハーブティ等のPAを調査しているが、一方、日本では全く調査されていなかった。 飼料については、ナルトサワギクに含まれるPAが家畜に危害を与えているという報告がオーストラリアであり、農林水産省も注意喚起を行っている。
外部有識者	ミツバチへの農薬の影響については、国民の関心が高い。死んだミツバチの分析だけではなく、残された巣箱に残留する農薬等の調査など、調査方法について改善できることがあるのではないかと。農林水産省からの指示を待っているだけでなく、積極的な攻めの姿勢も必要ではないかと。
説明者	農林水産省からの依頼は、死んだミツバチ体内に残留している農薬を分析するための分析法を確立し、それに基づき分析することである。調査方法の改善等についてのご意見は農林水産省へ伝えたい。
外部有識者	平成25年度の評価で唯一「B」評価項目であった「契約の点検・見直し」の一者応札について、今年度の状況はどうなっているのか。
説明者	分析機器の保守点検の入札は、当該機器メーカー以外は参加できないことから一者応札となっている。
外部有識者	PAについて、妊産婦が有害であると知らずにPAを含んだハーブティを飲んでしまうようなこと等がないよう、有害である場合は注意喚起

を徹底して欲しい。

また、新たな機能性食品表示制度が始まること、食品事故や食品偽装などの問題が起きていること等から、これらへの対応や予防にFAMICが力を発揮して活躍することを期待する。

(2) 外部有識者からのご意見等

外部有識者

肥料の輸入に当って不利となっている公定規格の規制緩和等をお願いしたい。日本向けに特別仕様の製品を製造していることから、価格が高くなっている。

ホームセンターにおける肥料について、肥料取締法に触れるものもあることから、検査を強化してほしい。

被覆肥料の表示について、効果発現までの期間等について分かりにくい表示の製品があることからルールを作っただけであれば、利用者保護につながる。

農薬の原体製造について、品質の同等性が担保できれば届け出ている製造法以外の製造法でも原体製造を許可していただきたい。

ジェネリック農薬について、安全性試験等の緩和をお願いしたい。

マイナー作物への農薬登録試験について、登録要件の緩和を検討いただきたい。

外部有識者

FAMICは分析法の開発等を行っているが、学会においてFAMICの名前をあまり聞かないことから、学会発表を積極的に行って欲しい。

輸入飼料の種類増加や、使用が促進されている国産飼料稲について、飼養管理に当たって重要なデンプン量のばらつき等、品質面での懸念があることから分析法の開発を行って欲しい。

研究開発独法と性格が異なる行政執行法人として研究の自由度が研究所とは違う中、今後、FAMICは研究の実施についてどのような考えを持っているのか教えて欲しい。

外部有識者

FAMICは食品の安全を守る大きな役割を担っているので、検査分析等の実施に関わる若い人の育成を大事にして欲しい。

JAS規格へのHACCP導入については、農林水産省の指示があれば、FAMICで検討するとの回答が昨年度の意見への対応にあった。昨年、食品への異物混入等が多く発生したこと等も踏まえ、JAS規格へのHACCP導入については是非とも取り組んで欲しい。

リニューアルしたHPでアクセス数が減少した要因は、他府省の新着情報の掲載を取りやめたためであれば、再度掲載してはどうか。

外部有識者	<p>BSEについて、近年日本では発生していないが外国ではBSEが時々発生していることから、独自の視点での情報収集に努めて欲しい。</p> <p>検査の信頼性確保において、職員の教育訓練や学会等との連携をより強化していただきたい。</p> <p>会計基準の変更等は、研究者、現場担当等が注意を怠りがちなことから、法令遵守の周知徹底に努めるべきである。</p>
外部有識者	<p>食品については、食品表示法の施行及び新たな機能性食品表示制度が始まることから、FAMICの業務は益々重要になる。このことから、FAMIC人員はもっと増加させてよいと考える。</p> <p>研究業務におけるデータのねつ造等の防止のため、研究倫理についてどのように研修や教育を実施しているのか。</p> <p>経済産業省の独立行政法人である製品評価技術基盤機構はNITE（ナイト）の名称で一般に普及してきているので、FAMICもFAMIC（ファミック）の名称を普及させて認知度を上げていただきたい。</p>
外部有識者	<p>残留農薬の分析について、都道府県等でも行っているが技術力が低下しているところがある。残留農薬分析に係る技術について、情報発信に努めて欲しい。</p> <p>FAMICホームページで公開している農薬分析法について、より分かりやすくして欲しい。</p>
外部有識者	<p>登録認定機関等への定期的調査について、JASの検査機関、認定工場への調査件数を減らすなど、JASの現場の負担を軽減して欲しい。</p>
外部有識者	<p>PAの有害性について、判断はどこが行うのか。</p>
外部有識者	<p>グローバル化に伴って知的財産の管理について不安があることから、関係機関と連携して進めて欲しい。</p>
外部有識者	<p>HPはリニューアルして大変使いやすくなったが、トップページにサイト内検索を設けた方が便利だ。</p> <p>Q&Aが各部門のページにあるが、これもトップページにQ&Aをまとめたコーナーを設けた方が分かりやすい。</p> <p>4月から行政執行法人となるが、一般の方は行政執行法人とは何であるか分からないと思う。行政執行法人として対応できる範囲とできない範囲がある。できる範囲を広報することも大事だが、できないことも説明すべきである。</p>
説明者	<p>委員のご意見等については、今後の業務改善に生かして参りたい。</p>

また農林水産省へ伝えるべきことは、農林水産省の担当部署へ伝えて参りたい。

閉会の挨拶

座長

本日はお忙しい中、長時間にわたって多様なご意見をいただきありがとうございます。会議でお話しした業務のトピックスについては、社会の関心が高いということがよく分かった。私どもに与えられた使命を果たすため、いただいたご意見を今後の業務改善に生かして参りたい。

(以上)